

授業科目名・形態	精神保健福祉制度論 I	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	古川博文・田中 誠	開講期	3 年生前期	単位数 2

【授業の主題】

本講義では精神障害者への保健的及び福祉援助活動を進めていくうえで不可欠な視点や制度について体系的に理解していくことを目的とする。同時に精神保健福祉領域の知識や技術の理解を深めること、その基盤となる援助者の基本姿勢・態度を明確にする。

【到達目標】

- 1) 精神保健福祉に関する制度を理解する。
- 2) 精神保健福祉法成立の経過と意義を理解する。
- 3) 障害者基本法と障害者総合支援法における精神障害者の福祉について学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 社会保障全体から見た精神保健に関する制度とサービス
- 第 2 回 精神病患者監護法から精神保健法成立までの経過
- 第 3 回 精神保健法から精神保健福祉法成立までの経過
- 第 4 回 精神保健福祉法の概要①
- 第 5 回 精神保健福祉法の概要②
- 第 6 回 精神保健福祉法の概要③
- 第 7 回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス①
- 第 8 回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス②
- 第 9 回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス③
- 第 10 回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス④
- 第 11 回 精神障害者に関する社会保障制度①
- 第 12 回 精神障害者に関する社会保障制度②
- 第 13 回 精神障害者に関する社会保障制度③
- 第 14 回 精神障害者に関する社会保障制度④
- 第 15 回 援助にかかわる組織、団体、関係機関及び専門職や地域の支援

【授業実施方法】 講義形式

【教科書等】 「精神保健福祉に関する制度とサービス」中央法規

【参考文献】 随時、講義の中で紹介する。

【成績評価方法】 筆記試験 80%、出席数 10%、授業態度 10%、等で総合的に判断する。

【学生へのメッセージ】

本講義は精神保健福祉士受験資格習得のための指定科目である。将来、精神保健福祉士として対人援助の現場で働こうとするならばその基礎となるものである現代社会における精神保健福祉士の活躍する分野は専門的であり、その領域はさらに拡大傾向にある。

この分野を目指す学生は積極的かつ情熱的に知識の習得を目指してほしい。